

亜鉛不足の頻度、危険因子に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2024年2月19日 ～ 2025年10月30日

〔研究課題〕 整形外科入院患者における亜鉛欠乏の有病率と予測因子

〔研究目的〕 亜鉛は、いろいろな組織に存在し、さまざまな酵素の活性化に役立っています。そのため、亜鉛が不足すると、さまざまな症状がでます。「傷の治りがわるい」という症状もその一つです。この症状は、手術を受けた患者さんにとって非常に問題になってきます。この研究では実際にどのくらいの患者さんにおいて亜鉛が不足しているかを調べることを目的としています。また、亜鉛が不足している人の特徴を明らかにすることも目的としています。

〔研究意義〕 どのくらい亜鉛が不足しているか、そして亜鉛が不足している人の特徴がわかれば、手術前に該当する人を検査して亜鉛を補充することで、手術後に亜鉛不足による症状がでることを防ぐことができます。

〔対象・研究方法〕 2022年2月15日から2022年8月31日の期間に帝京大学ちば総合医療センター整形外科に入院した患者さんを対象としています。入院時に調べた血液検査のデータと、カルテから得られる情報を使用します。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター整形外科で行います。

〔個人情報の取り扱い〕 個人情報は厳重に管理し、個人が特定されないようにします。収集した情報は、研究終了後にとりまとめて倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターで10年間保管した後に廃棄します。

〔その他〕 謝金等はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 重村知徳 職名 講師
所属： 帝京大学ちば総合医療センター整形外科
住所： 千葉県市原市姉崎 3426-3
TEL： 0436-62-1211（代表）〔内線 2633 〕